

障 福 第 1202 号  
平成 30 年 8 月 17 日

各関係機関 御中

茨城県保健福祉部障害福祉課長  
脳損傷友の会・いばらき  
(公 印 省 略)

平成 30 年度第 2 回高次脳機能障害者支援従事者研修会の開催について (通知)

日頃より当センターの事業へのご理解、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。  
平成 30 年 4 月より、「茨城県高次脳機能障害支援センター」が開設され、支援ネットワーク協議会の開催、高次脳機能障害者支援コーディネーターによる相談支援、人材育成のための研修会の開催等高次脳機能障害者を支援するシステム構築のための各種事業を実施しているところです。

このたび、高次脳機能障害者の相談支援に従事する関係者の資質向上を図るため、下記により研修会を脳損傷友の会・いばらきと共催することといたしました。また、今回は高次脳機能障害者支援の普及・啓発を目的に作成した缶バッジのセレモニーや当事者・家族からの体験談を発表していただく予定となっております。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、関係職員の出席について特段のご配慮をお願いいたします。

記

- 1 日 時 平成 30 年 9 月 29 日 (土) 13:30~16:00
- 2 場 所 茨城県立医療大学 講義棟 112 室  
(茨城県稲敷郡阿見町阿見 4669-2)
- 3 内 容 テーマ:「当事者・家族の経験から学ぶ支援のあり方」  
①高次脳機能障害支援センターの役割と今後の可能性  
小原 昌之 (茨城県高次脳機能障害支援センター)  
②当事者・家族からのメッセージ  
シンポジスト: 藤井 ケイイチ 氏 (ミュージシャン)  
丹羽 真理子 氏 (脳損傷友の会・いばらき 会員)  
応援メッセンジャー: 大田 仁史 氏  
(茨城県立健康プラザ管理者・茨城県立医療大学付属病院名誉院長)  
③缶バッジセレモニー  
浅野 こずえ 氏 (脳損傷友の会・いばらき 会員)
- 4 受講対象者 高次脳機能障害者の支援業務に関わる支援者、家族、当事者
- 5 受講申し込み 出席につきましては、別紙により平成 30 年 9 月 21 日 (金) までに E メール、FAX または郵送にてご連絡ください。
- 6 その他 当日は、報道関係者の取材が入る予定ですので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

茨城県保健福祉部障害福祉課	
茨城県高次脳機能障害支援センター	
担当	山中 俊広
TEL	029-887-2605
FAX	029-887-2655
E-mail	koujinou.sien@pref.ibaraki.lg.jp

(別紙)

FAX 029-887-2655

茨城県高次脳機能障害支援センター

山中 行

※FAX で送信される場合、送付状は不要です。

受講申込み票

平成 30 年度第 2 回高次脳機能障害者支援従事者研修会について、次のとおり申し込みます。

「テーマ：当事者・家族の経験から学ぶ支援のあり方」

機関名

担当者名

電話番号

1 出席者

所属	職種	氏名